

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 1 月 11 日作成)

小委員会名	教育将来検討小委員会	主 査 名：石川孝重 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築教育委員会	委員長名：長澤夏子
設 置 期 間	2023 年 4 月 ～ 2027 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築を取り巻く社会環境の変化、建設産業の変化、建築系学生の進路の多様化に鑑み、建築教育の将来像を検討し、調査研究を行う。特に、こども教育、防災教育、まちづくり、コミュニティ再生といった、建築や都市に関わる視点、住まい手の視点に関する分野の学習・教育について注視し、具体的な提案につなげることを目指す。</p> <p>初年度：活動計画の検討・確認、研究集会の検討・実施 2 年度：活動計画の実施、研究集会の検討・実施 3 年度：活動計画の実施、研究集会の検討・実施、中間まとめ 4 年度：活動計画の実施、研究集会の検討・実施、報告書の作成</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし	
	主査：石川孝重 (日本女子大学名誉教授) 幹事：平田京子 (日本女子大学) 委員：亀井靖子 (日本大学)、妹尾理子 (文教大学)、田口純子 (名城大学)、 田中和夫 (東京都立田無工科高等学校)、長澤夏子 (お茶の水女子大学)、 萩野紀一郎 (富山大学)、元岡展久 (お茶の水女子大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校建築教育調査研究 WG 実践事例、教材などの調査。工業高校建築教育研修会の企画および実施。 ・ 防災教育 WG 防災教育カリキュラムの作成、防災教育目標、ルーブリック評価など。 日本建築学会大会の研究懇談会の企画・実施。 ・ 近現代建築アウトリーチ WG 委員個別の活動・事例の調査。 ・ デザイン/ビルド教育 WG 委員による実践事例の情報共有。 	
2023 年度予算	261,000 円	ホームページ公開の有無：あり 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/edu/s0/

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第 23 回建築教育シンポジウム 参加者数 21 名 『建築教育研究論文報告集 No.23』 2. 第 52 回工業高校建築教育研修会 参加者数 27 名
大会研究集会	1. 防災教育の進化・体系化をめざして一発達段階に応じた教育目標の明確化 『同名資料』 参加者数 42 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 建築防災や建築教育の社会の展開について議論を深めた。 2. 高校における建築教育の調査・分析、研修会が行われた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 他の調査研究委員会にも多くの教育関係委員会が設置されており、本委員会との連携が十分にできていないことが課題である。 2. オンライン利用の委員会開催により参加者は増えたが、深い議論には工夫が必要。